

## 所沢道場での私の内弟子私生活

廖嘉君

高校卒業後、三年前に話していた、内弟子プログラムに参加したいかどうかを、父に尋ねられました。

とても興奮しましたが、それと同時に、日本語も話せないし、日本文化にも詳しくありませんので、恐れもありました。

しかし、私の心配はまったく意味がありませんでした。小林家の皆さんは皆、私をととても暖かく迎え入れてくれ、私を多くの美しい日本文化の発見へと導いてくれました。

内弟子であるということは簡単なことではありません。台湾の道場の時とは異なり、稽古の前後には毎回掃除をしなければなりません。

お茶の準備や先生の袴をたたむこともです。

しかし、これらの違いは、先生の教えに対する尊敬の念から出てくるものです。

また、一日二回かそれ以上の日々の稽古は疲れますが、私の体を強くし、合気道の技術向上になります。

別の見方をすると、内弟子プログラムは私に、人生とは疲れるものだが実に単純である、と思い込ませてくれました。

この生活スタイルでは、疲労が常に付いて周りながらも、健康を維持するためにありとあらゆる努力をしつつ、先生と他の生徒たちとの稽古のチャンスを逃さない、ということが求められます。

内弟子生活はまた、私を人としてもより良い状態にしてくれます。内弟子になる前、私は生活力に乏しい人間でした。しかし、この経験の後、私は料理することや、スーパーで買い物すること、また道場を掃除し、先生方のために朝食を作ることを覚えました。

もし、あなたが内弟子体験にトライしてみたいと考えているなら、ためらわないで、と言いたいです。なぜなら、この経験は合気道を習う最良の方法であるだけでなく、あなたに自分の人生と、自分が何をすべきかを考えさせてくれる場でもあるからです。

内弟子生活を通して得られる経験はあなたがそのために費やす労力以上のものをあなたに与えてくれます。これは自分自身を向上させる本当に良いチャンスです。

最後に、内弟子体験の機会を与えて下さり、女性内弟子として初めて所沢道場に住み込むことことで、他の内弟子から色々と学ぶ機会を与え



初めての浴衣

て下さった弘明先生に感謝致します。

そして、私の二人の仲間、レジエップとジャスティンにも感謝します。彼らのおかげで内弟子生活がより楽しく楽になりました。さらには、私が良い内弟子になるために助けて下さり、ホームシックを忘れさせようと色々と努力して下さった全ての方々に感謝致します。アリガトウゴザイマス。



弘明先生と



実代子さんと（弘明先生の奥様）



香穂と（弘明先生のご令嬢）